



インガラバー

NPO法人
日本・ミャンマー
医療人育成支援協会
〒700-0811
岡山県岡山市北区番町2丁目6番7号
TEL:086-224-0102
URL:http://www.mjcp.or.jp

岡田茂理事長ら医療チーム9人が9月28日から10月6日まで、ミャンマーを訪れました。現地での指導報告と体験記を2人に寄せてもらいました。

人々を救える幸せ 実感

三重大学教授
脊椎外科・医用工学

協会員 笠井裕一

首都ネピドーの総合病院で脊椎手術の指導を3日間行いました。今回のミッションにおける外科医チームは岡山大学形成外科の木股敬裕教授と山田潔先生、そして私の3人でした。

出国前には、ミャンマーでどの程度の脊椎手術ができるかどうが不安だったため、三重大学附属病院の手術室から古い手術機器などを譲り受け、最低ラインの手術ができるように準備をしました。

初日は、あらかじめ集められていた24人の患者の中から、どの患者を手術するのか、現地スタッフたちと症例検討をしました。ほとんどの患者はMRIが撮影されておらず、これは国内にMRIが4台しかないため、よほどの幸運がない限り撮ってもらえないというのが現状です。またミャンマーでは、脊椎外科を専門にしている医師が数



現地スタッフと手術前の症例を検討。前列左が筆者=ネピドー総合病院

人しかおらず、脊椎手術があまり行われていないようでした。私は24人中5人が手術適応であると判断し、二日目に3例、三日目に2例の手術を行う計画を立てました。

しかし、背骨を掘削するドリルがなかったため、歯医者さんが使うドリルを辛うじて消毒して使用しました。1例目の手術が無事に終了し、手術機器の名前もミャンマー語と英語のどちらでも対応できるようにしました。

2例目のとき突然、私にトラブルが襲いました。なんと、ロンジーのように腰に巻いていた手術着のズボンがパサッと脱げてしまったのです。しかたなく、私はオレンジ色のパンツを露出させながら手術を続行しました。その瞬間から手術室に和やかな空気が漂い、脊椎手術の経験が少ないネピドーの整形外科医たちは、徐々にコツをつかんでいきました。そして、手術した5人も術後に痛みや麻痺が軽減し、全ての患者さんに喜んでいただけたと思います。

今回のミッションで改めて、自分が生きている幸せ、日本に生まれた幸せ、人を救える幸せ、を感じる事ができました。チェアズーティンバーデー(ありがとう)ございました。

今度のミッションで改めて、自分が生きている幸せ、日本に生まれた幸せ、人を救える幸せ、を感じる事ができました。チェアズーティンバーデー(ありがとう)ございました。

ネピドーの総合病院では形成外科チームが手術をしており、その様子を見学しました。カンクムという日本では見られない感染性組織破壊の強い患者もいました。現在形成外科手術ができる医師は、過去に外国に留学していた数人だけで、技術を学べる環境が国内に無いという問題を抱えていました。軍事政権による束縛と過去の植民地政策による教育軽視は、医療以外にもこのようにこの国の発展を妨げているのだろうと思います。

日本と全く異なる環境下に数日ですが身をおき、その医療事情を考えてみると、医療は生活空間、社会状況と切り離せない分野なのだという当たり前のことを改めて認識しました。

支援は過去を未来へつなぐ懸け橋

岡山大学医学部

3年生 西山千尋

医療における国際協力に興味があり、3年生の3ヶ月間、教室配属を東南アジアと共同研究をしている病原細菌学教室に希望しました。この共同研究が当NPOと連携してミャンマーで行われていることを知り、今回の現地視察に同行しまし

た。ミャンマーというと、2007年の僧侶による抗議デモ、日本人ジャーナリスト射殺、2008年サイクロンによる大被害、長年続くアウン・サン・スーチー氏軟禁など、危険なイメージが漂います。その一方でミャンマーを訪れた人は微笑みの国という言葉を残しています。いったいどんな国なのか、非常に楽しみに日本を待ちました。

宗教と日常が一体 ヤンゴンはとても活気ある町でした。ロンジー(腰巻)を巻いて、タナカ(顔に塗る白粉)を塗り、円筒状ステンドレスの段式お弁当箱を手に提げて出かけていく人々の姿がどこにもあります。日本製の中古バスが何台も走っており、当時日本で使われていた広告がそのまま使われていたのを見ました。喧騒

の中に朱赤の袈裟(女性はピンク)をまとい托鉢する僧侶の姿が見られます。堂々と立つバゴダの風景と合わせて、日本では感じることのない宗教と日常が一体となった生活空間を感じました。



長い年月の交流

アメリカがミャンマーに対する経済制裁を始める前まで、日本はミャンマー支援に熱心に取り組んでいました。



今回訪れたDMR(国立医学研究所)も日本の支援の下に作られた建物で、研究室内にも援助の跡がいくつも見られました。

岡山大学細菌学教室が

- ①はタナカと呼ばれる金・マンマーのお化粧を顔に塗った筆者
- ②は原料になる樹木を、少量の水をいれてすり、タナカを作っているところ

初めてのミャンマーでしたが、温かい人々に囲まれ、軍事政権下とは思えない、とても穏やかな気持ちで過ごすことができました。この国の人々のために少しでも役に立ちたいと思う素敵な国です。この国の歴史をもっと知り、再び訪れたいと思うようになりました。

この地にしかない疾患があるのは生活空間が違うからであり、先天的に現地の人が持つ遺伝的特徴もあります。病気の治療に対する考え方はその土地の文化によります。現地の人でしか分らない生活スタイルや考え方があり、人材や物資を外国から送り込むだけでは無意味なことがよく分かります。ミャンマー人がミャンマー人を診るという形が、本来あるべき姿なのだと思います。だからこそ、そんな未来につながる助けとなる「教育」にこのNPOが力を注いでいるのだと理解しました。支援は今の国を作り上げた過去、つまり国の歴史と環境、文化を、彼らの思い描く未来へとつなぐ架け橋のような存在なのではないでしょうか。

医療チームとほぼ同じ時期に、協会会員13人もミャンマーに出かけた。これは、その訪問記です。

初めてのミャンマー

岡山理科大学専門学校
前校長（協会会員）

圓堂 稔



ミャンマー！私は10月1日から6日までミャンマー訪問に参加しました。ミャンマーについては敬虔(けいけん)な仏教徒の国、アウン・サン・スーチーさん、軍政の国家、サイクロンで大きな被害を受けた、くらの知識しか持ち合わせていませんでした。それだから、何でも見てやろうと好奇心の塊の参加でした。今までに岡田理事長からお誘いを受けていましたが、仕事の都合で持ち越してあり、今回は念願かなっての訪問となりました。一行13人は関空発バンコク経由でヤ



托鉢を終えて、食堂に向かう僧侶たちの列が延々と続く＝マンダレー

タ・テ・サン医師再来日

今回は岡山県の海外研修員

ミャンマーのタ・テ・サン医師(31)が岡山県の今年度海外技術研修員として再び来日し、岡山大学病院などで研修を受けています。

タ・テ・サン医師は国立中部ミャンマー医学研究局の病理医。2008年春に当NP

〇の招きで訪日、岡山大学病院や倉敷芸術科学大学で研修を受けたことがあります。今回は9月13日から来年2月10日まで滞在し、まず岡山国際交流センターで日本語を学び、前半は岡山大学病院総合内科、後半は



原野昭雄・客員研究員(右)の指導を受けるタ・テ・サン医師＝岡山大学病院

岡山済生会総合病院と岡山協立病院で研修を受けます。

期間中の研修経費、滞在費、往復の航空運賃などは岡山県から支給されます。

食事はうまい ビールは最高 3キロ太って帰りました

ンゴン空港に入国しました。機上から見るヤンゴンの景色の中に仏塔が目に見え、飛び込んで来たのには驚きました。空港で待っていたバスは「イーゲルバス」(埼玉県川越市)。昔の日本に連れ戻されたのではないかと目を疑うような一瞬でした。バスが走り出すと目に入ってくる人々の生活様子は私の小学校時代の光景を彷彿させるものでした。まるで漫画、後に映画にもなった「三日月の夕日」の世界でした。

翌日から北部のマンダレーへ旅をし、先発の医療チームの人たちと一緒になりました。ヤンゴンへ引き返してからDMR(国立医学研究所)、国立ヤンゴン総合病院、下野クリニックを見学させてもらいました。21世紀を生きている者すべてに平等な医療が受けられることをこの時ほど念願したことはありません。また、この支援協会の意義の大きさを改めて認識し、協会の輪をより大きくするために何かをしなければと痛感したものでした。国民性は穏やかで、食事は旨い。ミャンマービールがまた最高で、郊外は風光明媚でした。帰国した時、体重は3キロ増えていました。歴史をもう少し勉強して再度訪問したいと思えます。

日本・ミャンマー医療人育成支援協会のための募金箱設置施設

募金箱を設置させて下さる施設を求めています
連絡先：090-8998-1508 (担当 西山)

前号で、当NPO支援を呼びかける募金箱の設置施設を掲載したところ、大勢の皆様から募金が寄せられました。深く感謝しています。引き続きの設置と新たに設置していただいた施設は次の通りです。よろしくご協力下さい。

〈社会医療法人 光生病院〉

〒700-0985 岡山県岡山市北区厚生町3丁目8番35号
TEL 086-222-6806 (代表)
FAX 086-225-9506



〈備前市立備前病院〉

〒705-8501 岡山県備前市伊部2245
TEL 0869-64-3385



〈中島病院〉

〒701-0205 岡山県岡山市南区妹尾1878
TEL 086-282-0218



〈医療法人 平病院〉

〒709-0498 岡山県和気郡和気町尺所438
TEL 0869-93-1155
FAX 0869-93-0330



〈医療法人三水会 田尻病院〉

〒707-0003 岡山県美作市明見550-1
TEL 0868-72-0380
FAX 0868-72-4406



〈美作市立大原病院〉

〒707-0412 岡山県美作市古町1771番地9
TEL 0868-78-3121
FAX 0868-78-3123



〈鳥枝歯科医院〉

〒720-2104 広島県福山市神辺町道上612-2
TEL 084-963-3238



〈あかね動物病院〉

〒720-0002 広島県福山市御幸町下岩成1144-3
TEL (084) 955-0505
FAX (084) 955-0909



〈さめぎ麺庄 はま弥〉

〒762-0017 香川県坂出市高屋町1473-3
TEL 0877-47-3432



〈高山ペットショップ〉

フジグラン 三原店
〒723-0015 広島県三原市円一町1-1-7 フジグラン店内
TEL (0848) 61-0310

フジグラン 東広島店
〒739-0024 広島県東広島市西条町御園宇4302 フジグラン店内
TEL (082) 493-5670

高松店
〒761-8054 香川県高松市東八幡町17-4
TEL (087) 869-7521

館町 本店
〒723-0004 広島県三原市館町1丁目3-3
TEL (0848) 62-2967



〈高山健康センター〉

〒723-0004 広島県三原市館町1-3-3
TEL 0848-62-2967

〈光南台クリニック〉

〈光南台居宅介護支援事業所〉
通所リハビリテーション(老人デイケア)
〒702-8012 岡山県岡山市南区北浦714
TEL 086-267-2055
FAX 086-267-1110

〈大我堂 東洋医学総合治療院〉

〒710-0261 岡山県倉敷市船穂町船穂2930
TEL 086-552-5017

〈ニコニコこどもクリニック〉

〒700-0973 岡山県岡山市北区下中野1223-1
TEL 086-242-5566

〈特別養護老人ホーム 宗玉園〉

〒706-0311 岡山県玉野市梶岡576-2
TEL 0863-41-2788

〈(株)岡ビル百貨店 鮮魚岡屋生魚店〉

〒700-0815 岡山県岡山市北区野田屋町1-3-3
TEL 086-222-4460

〈チャイルド 犬の美容室〉

〒720-0067 広島県福山市西町1丁目15-11
TEL 084-923-0630

〈まつなが産科婦人科〉

〒720-0031 広島県福山市三吉町3-3-23
TEL 084-923-0145

〈ラ・モード手結〉

〒700-0822 岡山県岡山市北区表町3-13-54
TEL 086-233-0179

〈介護老人保健施設 里仁苑〉

〒723-0051 広島県三原市宮浦6丁目16-17
TEL (0848) 62-4411
FAX (0848) 62-0230

〈史子の部屋〉

〒720-1145 広島県福山市駅家町今岡
TEL 084-976-0643

〈広報室から〉

今年は大変暑い夏で、その影響が紅葉が始まるのが遅れているようです。例年のような美しい色合いは期待できないとか。寂しいことです。前号で募集いたしましたとおり、ミャンマー旅行に行つてまいりました。楽しく有意義な旅となりました。参加された皆様、お疲れ様でした。また高山様、笹山様

石野様をはじめ支援のための衣料品、文具などを持参された方々には、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。(西山)



参加者全員で＝DMR(国立医学研究所)